

小学5年1組 外国語活動学習指導案

指導者 加藤君江
片寄メーガン

自分たちの住んでいる松江の町の好きなところやものを、外国の人に伝えるという状況を設定して、個々の考えや表現の仕方を検討し合うという展開を構想したことは、相手を意識して反応を確かめながら、より相手に伝わるような表現を用いたコミュニケーションへと高め合うことに有効であったか。

1 単元名 私の好きな町のことを伝えよう ～Lesson4 I like apples.～

2 単元のねらい

世界や自分たちの住んでいる松江の様々な自然や建物、特産物に興味をもち、その特徴やそれぞれのよさに気付き理解を深めるとともに、松江の好きな場所やものとその理由を、外国の人に工夫しながら積極的に伝えようとしている。

3 授業の構想

(1) 本学級の子どもは好奇心旺盛で、どんな活動にも興味をもって取り組む姿が見られる。学年全体で取り組む活動も多いことから、クラス替えがあっても躊躇することなく自分の意見を出し合い、話し合いをしようとする姿が見られる。低学年から日々の様々な活動を通して、子どもがお互いに心を通わせてきた成果であると思われる。特に外国語活動では、活動を行う中で、たくさんの人と言葉を交わすことによって、それまで気が付かなかった友だちの良さを知り、お互いを理解し合うことができる活動が設定されることが多い。学級経営の視点から考えても外国語活動の効果は大きいので、1時間1時間を大切にしていきたいと考える。以下に示すのは、「世界のいろいろなあいさつを使って名刺交換しよう」の授業後のふりかえりである。

今日は名刺交換をしました。4人として、みんないろいろな言葉を使いこなしててりっぱだなと思いました。もっとみんなとやりたかったです。

という感想があった。初めはなかなか言えなかった他国の挨拶でも、活動を重ねるたびに、誰とでも活動を楽しもうとする意欲が高まっていた。しかし、高学年という発達年齢から、気の合う人、話しやすい人と活動しようとする傾向もある。また、ただ自分が伝えたことに満足し、相手が理解してなくてもよしとしてしまう姿も見られた。この実態から相手が誰であろうと、相手意識をもって自ら伝えようとする態度や、相手に自分の言いたいことがきちんと伝わっているのか反応を確かめながら、相手を大切にすることを育てたい。

(2) 以上の実態を踏まえ、単元のねらいを上記のように設定した。本単元では、実際に松江に住む留学生や外国の人に、一人一人が自分の松江のお気に入りの場所やものを紹介する。他教科とも関連させながら、松江の町を見つめ地域の魅力を多くの人に知ってもらいたいという思いをもたせ、英語を使って自ら伝えようとする態度や伝わったという有用感を育てることはこれからの外国語活動に大きく繋がっていくであろう。5年生は、4月の社会科の学習で世界の国々のことを学習している。“Hi, friends! Lesson 1”では、世界の挨拶や様々な国の様子をデジタル教材を通して見たり聞いたりした。世界に目を向け、様々な文化に興味をもち、実際に友だちと様々な国の挨拶を交わしていくうちに、もっとやってみよう、外国語を使ってみようという思いが強くなっている。中には外国語を使って実際にその国の

人と話してみたいという思いも出てきていた。そこで、国際文化交流都市である松江市の組織、島根大学の留学生との連携を活用し、実際に英語を使って外国の人に伝える場面設定を行う。これまで学習した挨拶や自己紹介も含め、英語を介して実際に外国の人とコミュニケーションをとるという目的意識をもち、活動することで、思考力・判断力・表現力が育成されるのではないかと考える。

- (3) 本単元は5時間の構成とした。“Hi, friends! 1”のテキストを使い、友だち同士で好きなものや嫌いなものについて伝え合う活動を行う。そのあとの発展単元として設定する。第1次では、ALTや指導者がふるさとのお気に入りの場所を紹介する。その紹介から他国の文化や地域の文化に気付く。そして、自分たちも外国の人に自分のお気に入りの場所を伝え、もっと松江のことを知ってもらおうという目的意識をもつ。第2次は紹介する表現に慣れ親しむ。そして「松江のお気に入りの場所パンフレット」を作る。そこではなぜ好きなのか簡単な英語を使って思いをもたせたい。例えば“good”, “sweet”など、ただの紹介だけではなくそこに自分の思いが言えるように、思いにあわせた語彙に慣れ親しむ活動を仕組む。パンフレット作りでは、書写の授業で「おすすめの町ベスト3」を選ぶ教材があるので関連させて行い、相手にしっかり伝えるための書き方もコミュニケーションに必要な手段であることを活用する。そして、グループで紹介し合い、外国の人に紹介するための工夫について学級で話し合う活動を行う。外国の人に伝わったかどうか、どうしたらより明確に伝わるのか、伝える内容やコミュニケーションをとる際に意識するポイントを、人の考えと比較することを通して、自己の考えを深める学び合いの機会とする。実際に自分が外国人の立場であるならという視点で友だちの発表を聞く中で、発表する側は、絵や写真パンフレットをどのように指し示しながら行えばより伝わるか、相手の状況を見て、伝わっているのか伝わっていないのか確かめるにはどうしたらよいか、様々な意見が出されることが予想される。お互いの姿から感じたことを自分のこととしてとらえる。

4 展開計画（全5時間 本時5/5）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学び合い）
1	・他国や松江市のおすすめの場所やものの英語での言い方を知ろう。	1	・松江市のおすすめの場所やものの英語での言い方を知る。 ・ALTや指導者のふるさとのお気に入りの場所の紹介を聞き、単元のゴールで外国の人へ紹介するという見通しをもつ。
2	・松江市のおすすめの場所やものを英語で言ったり聞いたりしよう。	2	・松江市のおすすめの場所やものを英語で言ったり聞いたりする。 ・カルタ取りゲーム ・キーワードゲーム
	・松江市のおすすめの場所やものと理由を尋ねたり答えたりしよう。	3 4	・チャンツ ・マッチングゲーム ・パンフレットを作る。 ・パンフレットを紹介し合う。 ◇グループで紹介してみて、外国の人に伝えるためにはどうしたらよいか、相手意識をもちながら学級で考えを出し合うことで、一人一人がコミュニケーションで意識するポイントをつかむ。
3	・松江市のおすすめの場所やものとその理由を工夫して伝えよう。	⑤	・前時までに考えてきた相手意識を大切にしながら、パンフレットの紹介をする。 ◇活動の前半が終わった時点で良かった点や改善点を出し合う中で、後半の活動がねらいに沿ったものになるようにする。

5 本時の学習

(1) ねらい

松江の好きな場所やものとその理由を、外国の人に工夫しながら積極的に伝えようとする。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組 (◎は、学びをいかしている子どもの姿)	教師の支援と願い・評価
1. 挨拶をし、歌を歌う。“I like～.” 2. 外国の方々の挨拶を聞き、どこの国から来られた方が答える。 3. めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶し、歌を歌いながら活動の雰囲気をつくる。 ・地図を用意しておき国の位置が確認できるようにしておく。実際にその国の人と挨拶をし、Lesson 1の活動をいかせるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 松江の好きな場所やものとその理由を、外国の人に伝わるように工夫しながら積極的に伝えよう </div>	
4. 前時の活動を振り返り、自分の好きな松江について紹介する際、どのようなことを意識したかを学級全体で出し合う。 5. グループに分かれ、外国の人に松江の好きな場所やもの、その理由を紹介する。(前半) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 前半の活動のふりかえりをする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを見えやすくして説明すると、うなずいてくれた。 ・“OK?”と尋ねながら紹介したので、分かっているのか分かっていないのかがよく分かった。 ・緊張したけどゆっくり一生懸命伝えようとした。 6. グループをかえ、ふりかえりをいかして後半の紹介を行う。 ◎言葉だけではなく、パンフレットを使って指で示しながら伝えようとしている。 ◎相手の理解の状況を確認しながら次の紹介に進んでいる。 ◎必要に応じて言葉を強調したり、ゆっくりしたり、別の言葉で言い換えたりしながら様々な表現方法を用いて伝えようとしている。 7. 本時の活動のふりかえりをし、発表する。 ◎外国の人に伝わっているかどうか確かめながら紹介しました。ゆっくり話したり、パンフレットを指さしてなんとか伝えることができてよかったです。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で出し合った相手に伝えるための工夫について黒板に提示し全員が再度確認できるようにする。 ・ALTや指導者は紹介しにくそうにしている児童にはそばに行き安心して活動できるよう支援する。 ・相手にわかるように工夫して伝えられているかを問いかけ中間ふりかえりを行う。 ・中間ふりかえりで良かったことや改善点を出し合うことで後半の活動がねらいに沿ったものになるようにする。ALTや指導者からアドバイスをすることでさらに良い雰囲気で活動ができるようにする。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 評価の観点 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 松江の好きな場所やものとその理由を、外国の人に自分なりの工夫をしながら積極的に伝えられている。 【評価方法 行動観察・ふりかえりパスポート】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に英語を使って外国の人に伝えられたことを賞賛すると共に、相手に応じたコミュニケーションの工夫の在り方を学級全体で共有できるようにする。